

岡山医療生協ネットワーク

岡山医療生協、岡山中央福祉会、にじのご福祉会は連携して
医療・介護・福祉の充実をすすめています。

岡山医療生協の 4つのところ

「差額
ベッド料」
は不要です

「謝礼」や
「付け届け」は
不要です

保健・医療・福祉の
ネットワークで
対応します

人権を守る
医療・介護を
めざします

岡山医療生協	
病院	●岡山東中央病院 〒703-8265 岡山市中区倉田677-1 TEL:086-276-3711
診療所	●コープ西大寺診療所 〒704-8116 岡山市東区西大寺中2丁目20-33 TEL:086-944-0088 ●コープみんなの診療所 〒703-8228 岡山市中区乙多見101-4 TEL:086-278-8522 ●せいきょう玉野診療所 〒706-0026 玉野市羽根崎町5-10 TEL:0863-81-1696 ●コープ倉田歯科 〒703-8265 岡山市中区倉田680-1 TEL:086-237-8888
介護	●在宅福祉総合センター 倉田 〒703-8265 岡山市中区倉田668-1 ●デイサービスセンター くらた TEL:086-276-7081 ●ヘルパーステーション レインボー TEL:086-200-1720 ●コープケアプラン 倉田 TEL:086-200-1729 ●訪問看護ステーション さくらんぼ 〒703-8511 岡山市中区赤坂本町8-10(岡山協立病院内) TEL:086-271-5599 ●ケアプラン協立・介護の窓口 〒703-8511 岡山市中区赤坂本町8-10(岡山協立病院内) TEL:086-901-0228 ●ケアプラン福浜 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目8-7 TEL:086-902-0228 ●在宅福祉センター 福浜 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目8-7 ●コープデイサービス 福浜 TEL:086-902-0221 ●なんでも相談窓口福浜 TEL:086-902-0228 ●グループホーム 福浜 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目8-10 TEL:086-264-1077 ●デイサービス 虹の家 〒706-0026 玉野市羽根崎町5-26 TEL:0863-81-8801 ●ケアプラン 玉野 〒706-0026 玉野市羽根崎町5-10 (せいきょう玉野診療所2階) TEL:0863-81-1711
岡山中央福祉会	
	●特別養護老人ホーム 中野けんせいえん 〒704-8191 岡山市東区西大寺中野677-1 TEL:086-943-1701 ●デイサービスセンターひなた TEL:086-943-1707 ●老人保健施設 さくら苑リハビリセンター 〒704-8126 岡山市東区西大寺浜261 TEL:086-944-2266 ●さくら苑デイケア TEL:086-944-2359 ●デイサービスセンターつくしんぼ TEL:086-944-8210 ●さくら苑居宅介護支援事業所 TEL:086-944-2299 ●ケアハウスあかね 〒704-8105 岡山市東区吉原222 TEL:086-944-2197 ●ヘルパーステーションあかね TEL:086-944-2352 ●健生園デイサービスセンター 〒704-8105 岡山市東区吉原231 TEL:086-944-2941 ●健生園居宅介護支援事業所 TEL:086-944-2931 ●グループホーム さっちゃん家 〒704-8196 岡山市東区金田819 TEL:086-948-9788 ●さっちゃん家デイサービスセンター TEL:086-948-2420 ●養護老人ホーム 岡山市会陽の里 〒704-8102 岡山市東区久保205-1 TEL:086-944-2600 ●会陽の里デイサービスセンター TEL:086-944-2700 ●特別養護老人ホーム 穂香の里 〒704-8162 岡山市東区豊田300-1 ●地域密着型特別養護老人ホーム TEL:086-948-0026 ●小規模多機能居宅介護穂香の里 TEL:086-948-0027 ●穂香の里居宅介護支援事業所 TEL:086-230-0922 ●シルバーライフかなおか 〒704-8194 岡山市東区金岡東町1-14-17 ●サービス付高齢者向け住宅かなおか TEL:086-943-3322 ●デイサービスセンターかなおか TEL:086-943-1300
社会福祉法人 にじのご福祉会	
	●岡山協立保育園 〒703-8285 岡山市中区桜橋3-1-51 TEL:086-272-4111

Okayama Kyoritsu General Hospital

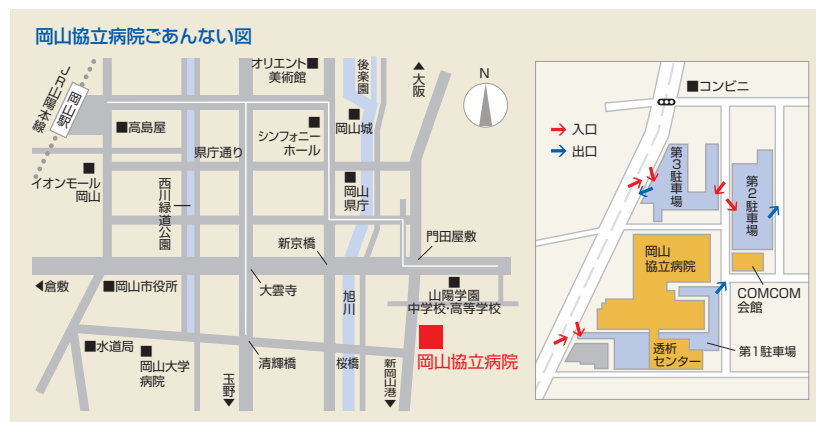
Hospital Guidance



岡山医療生活協同組合

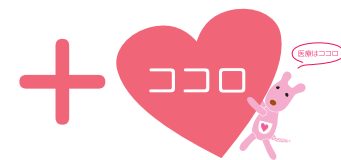
総合病院 岡山協立病院

〒703-8511 岡山市中区赤坂本町8番10号
Tel.086(272)2121 Fax.086(271)0919
ホームページ <https://www.okayama-kyoritsu.jp/index.html>



- 市電：岡山駅より「東山」行きに乗車「門田屋敷」下車、徒歩7分
- 岡電/バス：岡山駅より「新岡山港」「岡山ふれあいセンター」行きに乗車「協立病院前」下車、徒歩1分

ココロある医療を実践。私たちは岡山協立病院です。



岡山医療生活協同組合

総合病院 岡山協立病院



ココロ、交わる 笑顔、生まれる

岡山協立病院は、医療生協組合員と地域の人々に育まれた、
地域の人々のための病院です。

病院に関わるすべての人のココロの距離が近いから、
安全・安心・信頼の医療が実現します。

そして、地域と一体になった協力関係が生まれます。

なにより、ココロがかよう医療で地域に根ざした病院には、
いつも笑顔があふれています。

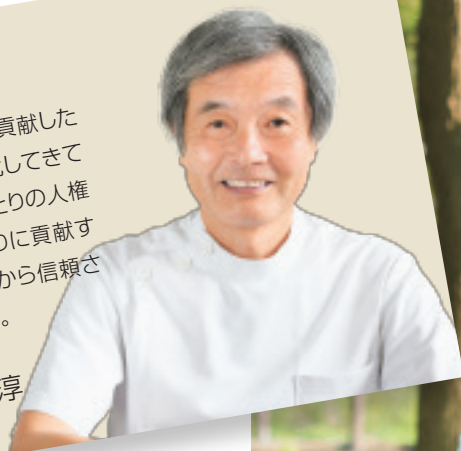
協立 Hospitality

地域から頼りにされる病院に

超高齢社会の到来、新自由主義的政策のも
とでの健康格差のひろがり、社会保障予算削
減の中で医療、福祉のありかたが大きな転換
点をむかえています。病院はかつては「病氣
を治す」場所でした。今でももちろん「治す」
ことは病院の大切な役割です。しかしそれだ
けではなく、くらしを支えたり、よろず相談に
のったり、地域の事業所や住民の方々と連携

したり、健康づくり・まちづくりに貢献した
り等々、病院の役割も大きく変化してきて
います。わたしたちは「ひとりひとりの人権
を大切に」「あかるいまちづくりに貢献す
る」「かかりやすく安心で地域から信頼さ
れる」病院をめざしていきます。

●院長 高橋 淳



岡山協立病院の理念

- 一人ひとりが尊重され、「いのち」「くらし」「平和」を守る社会をめざします。
- いつまでも住み続けられる、健康で明るいまちづくりを支えます。
- 安全・安心でかかりやすく地域から信頼される病院をめざします。

CONTENTS

施設・設備	4-5
地域医療活動	6-7
診療科目	8-9
医療チームワーク	10-11
医療機器・医療技術	12-13
岡山医療生活協同組合	14
病院の概要	15



医療をはじめ、人とのあらゆる関わりに
あたたかな心でのぞみます。
安全・安心な医療活動の実践と、
気取らない身近な医療施設づくりをめざします。
“かんごるー”はそんな岡山協立病院の
コミュニケーション・キャラクターです。

病院ご案内



●北館2階病棟／50床
循環器・腎臓疾患・
総合診療科 地域包括医療病棟

●北館3階病棟／50床
整形外科を除く外科系・
呼吸器疾患病棟

●北館4階病棟／46床
回復期リハビリテーション病棟



●本館3階／8床
HCU(ハイケアユニット)



●南館2階病棟／56床
消化器疾患・
整形外科混合病棟

●南館3階病棟／41床
特殊疾患病棟

●南館4階病棟／50床
地域包括ケア病棟



●新南館3階病棟／17床
緩和ケア病棟



●本館3階
手術室

●入退院調整
入退院支援

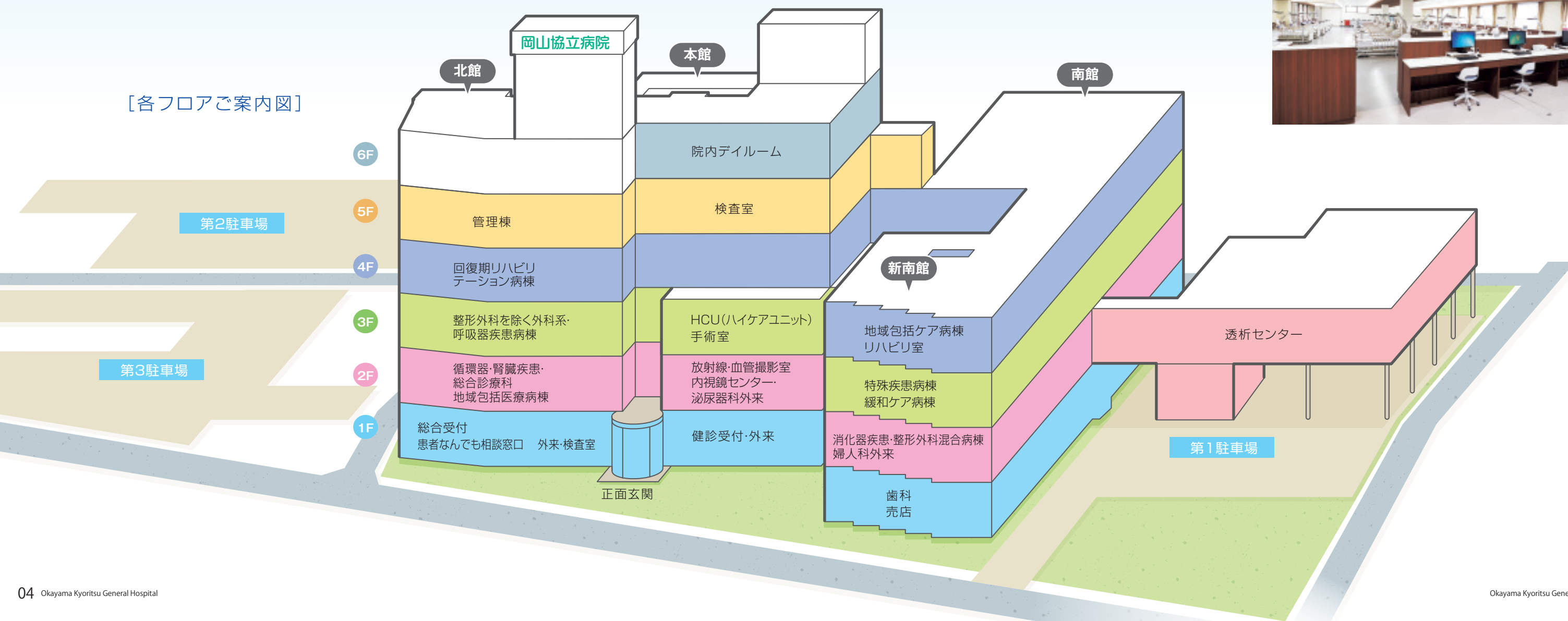


外来患者・入院患者を受け入れられる総合病院として、
地域から選ばれる透析センターをめざしています

●透析センター ■2階／35床



[各フロアご案内図]



つながるココロ

岡山協立病院が考える地域医療



Heart to Heart

チーム医療を地域へと広げたい

最近では医師と看護師だけが医療に当たるのではなく、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、ケースワーカーなど多くの専門スタッフが連携するチーム医療が広く行なわれるようになってきました。岡山協立病院でも、緩和ケアチームなどいくつかのチームが活動しています。さらに、チーム医療の考え方は地域

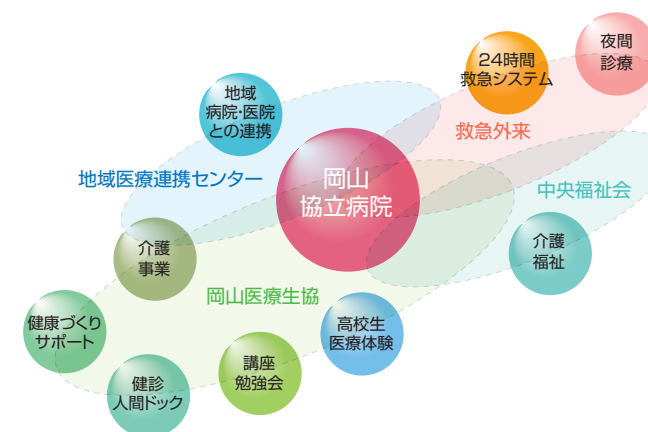
にも広がっています。たとえば、退院支援として地域の施設と円滑な連携をはかるよう、その施設の職員やケアマネージャーも参加したチームでカンファレンスを行っています。

●地域医療連携センター長
疼痛治療科部長

武田 明



院内を超えて広がる、医療・介護・福祉の連携 ココロつながる地域のための安心ネットワークづくりです



地域の医療機関や介護事業所と連携した医療活動

岡山協立病院は、岡山医療生活協同組合（医療生協）の基幹病院として、法人内の事業所と連携しながら医療・介護・福祉の充実に努めています。また、地域医療連携センターを設置し、周辺地域の病院・医院から紹介を受けた患者さんにスムーズに受診していただけるよう、予約や情報管理を実施。快適に受診できる医療体制を整えています。また、「いつでも安心」をモットーに24時間体制の救急外来を設置。さらに、岡山協立病院の医師と医療生協の診療所の医師が連携し、通院が困難な患者さんを対象に24時間対応の在宅往診も行っています。



●紹介状受付窓口



●救急チーム



●リハビリテーション



●訪問診療

岡山医療生協の活動

各種健診・講座・勉強会などで健康づくりをサポート

岡山協立病院を運営する岡山医療生活協同組合（医療生協）は地域の皆様の健康サポートを主な活動にしています。例えば、がん検診・人間ドックの他、生協独自のバラエティー健診など各種検診を実施。また、メタボリック対策の特定保健指導や子育て支援講座・救急救命処置講習会・健康班会でのミニ講義など、各種講座や勉強会を通じて、皆様の健康づくりを応援しています。



●あったか食堂

患者会の活動

医療スタッフと協力して学習や楽しい行事を行っています

岡山協立病院には、糖尿病・高血圧・透析など症状別の患者会があります。中には発足30年を超える会もあり、旅行やお花見・ハイキングなど、レクリエーションを通じて患者さん同士やスタッフとの交流を深め、療養に役立てる活動をしています。また、内外から講師を招いての講習会や他の患者会との交流会も実施。患者さんが正しい療養を続け、楽しく充実した生活を送れるよう支援を行っています。



●患者会/日帰りバス旅行

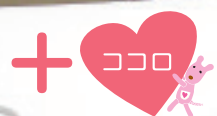
高校生医療体験

職業体験を実施し高校生を応援しています

医療に興味がある、将来医療系の職業に就きたいと考える高校生のために高校生医療体験を年2回実施しています。毎回約30校からたくさんの高校生が参加。希望の職種ごとに、医師や看護師と一緒にそれぞれの業務体験をしてもらいます。地域の中学校から職場体験も受け入れ、将来医療従事者を目指している皆さんを応援しています。



●高校生医療体験/血圧測定



診療科目

診療科目一覧

総合診療科	婦人科
内科	小児科
神経内科	泌尿器科
外科	眼科
皮膚科	耳鼻咽喉科
整形外科	心療科
脳神経外科	歯科
疼痛治療科	

高度な技術、先端の機器、ココロある診療
めざすは「安心」「快適」「やさしさ」あふれる医療です

内科

患者さん一人ひとりの生活を見つめ直す
一般内科診療と、体と心への優しさを
追求する専門的治療

近年増加している糖尿病、高血圧などの生活習慣病に対しては、くすりの
処方だけでなく、スタッフと連携した生活指導なども行っています。また
消化器・循環器・呼吸器・糖尿病・腎臓などの各分野では、検査・治療の専門
性を高めることにも力を注いでいます。内視鏡による早期診断や治
療、カテーテルによる血管拡張、外来での化学療法（抗がん剤治療）などを
提供することで、患者さんの生活の質を維持し、負担のかからない診療
をめざしています。



●内科部長
橋本 彰



●内科部長
若槻 俊之

外科

患者さんの病状に応じて、
適正な治療法・低侵襲手術の実践に
努めています



●外科部長
木村 圭佑

画像診断の進歩によって、外科手術の対象疾患については、正確な病状把握が可能な時
代になってきました。そのおかげで、治療計画が立てやすくなりました。一方で、鏡視（補
助）下手術などの低侵襲手術が広く普及し始めております。当院では、鏡視（補助）下低
侵襲外科手術の適応範囲を広げ、患者さんのお役に立てるように努めています。治療に
ついてお悩みの方がいらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。

泌尿器科

患者さんの症状や
病態を明確に診断し、
適切な治療を行うよう
心がけています



●泌尿器科部長
二ノ宮 祐子

近年、高齢化が進み排尿に問題を抱える方は増加してい
ます。排尿は生活の質に密接に関係しており、改善するこ
とで気持ち良く日々を過ごすことができます。
また、泌尿器科の代表疾患である前立腺癌は日本人男性
において罹患率第一位となり、今後も増加傾向にあると
考えられています。病気を治し、症状を改善することで、
患者さんの生活の質を向上するよう努めていきたいと思
います。

総合診療科

地域の皆様の疾患予防や
健康増進にも取り組む科、
それが総合診療科です

総合診療科の目指すところは、患者さんの特定臓器の着目す
るのではなく、社会的背景も含めた問題に向き合った診療の
実践です。
そのために今後とも、チーム医療、入院から在宅までの医療・
生活支援を密に行い、医療介護関係者の皆様と連携をすること
で「誰一人取り残さない」という協同組合の理念に基づいた
医療を守り続けていきます。



●総合診療科部長
一瀬 直日



心療科

その人その人に合わせて
援助していくことを心がけています



●心療科部長
梶田 三郎

心療科は心の病気をみる科です。
不安、抑うつ、苛立ち、不眠等で悩む方。精神的不調から身体的不調に
なる方。反対に、身体的不調から精神的な不調になる方など、様々な方
が診察に訪れます。生活環境や性格は一人ひとり違いますので、そ
の人その人に合わせて援助していくことを心がけています。

歯科

人間の重要な営みの1つが食べる
ことです お口の中を整えることで
QOLは確実に向上します



●歯科部長
伊藤 真午

歯科では先端医療を取り入れながら、総合病院内の歯科である特性を
生かし、高齢者や有病者の方々も安心して受診できる歯科医療を心掛
け、患者さんの口腔機能の回復に寄与できればと思っています。
そして、「ここに来て良かった」と言ってもらえる歯科をモットーに日々診
療を行っています。

質の高い医療を提供し続けるため
常に客観的な評価を受けています

当院は日本医療機能評価機構か
ら認定を受けた病院です。第三者
から公正な評価を仰ぐことで、安
全で良質な医療の提供に力を入
れています。また、厚生労働省指
定臨床研修病院として、医療従事
者の積極的な育成も当院の特徴
として挙げられます。



協立 Hospitality

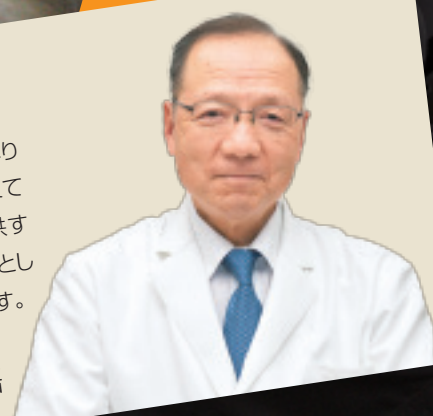
患者さんが中心——最良の医療への挑戦

多職種協働医療の時代

当院では医師をはじめ各専門職が一体のチー
ム医療を実践しています。より良い医療の実現
に向け、平等に意見を出し合うなど日々検討を
重ね、褥瘡（じょくそう）対策、栄養サポート、院
内感染対策、緩和医療、糖尿病教育、呼吸療法
などのチームを形成しています。世界的に医師

中心の医療から多職種協働医療の時代になり
つつあり、病院医療も大きな改革を迫られて
います。より安全でより高度な医療を提供す
るために岡山協立病院も患者さんを中心とし
たチーム医療をさらに充実させていきます。

●副院長 杉村 悟





響きあうココロ

岡山協立病院が考えるチーム医療

Heart to Heart

地域の健康を支える

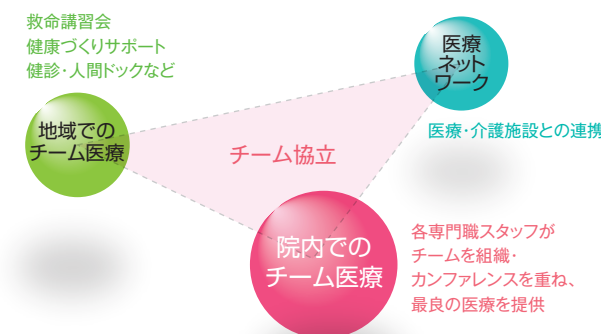
医療情勢はめまぐるしく変化し、看護師の活躍の場は病院にとどまらず地域でも求められています。岡山医療生協は設立当初より「地域の健康づくり」に組合員さんと取り組み続けています。私たちは「地域の方々が住み慣れた環境で健康に暮らし、安心して療養ができるよう支えていく役割があり、SDH(健康の社会的決定要因)について、この先も重要課題として取り組んでいく必要があります。当院のクリニカルリーダー研修には「訪問診療の同行」や「訪問看護研修」、「施設研修」などがあります。患者さんの入院生活にとどまらず、地域で暮らす(療養する)ことに目を向けることができる看護師の育成につとめています。

看護師は患者さんの一番そばにいる専門職として多職種と連携し、よりよい医療や看護を実践していかなければなりません。また、患者さんをはじめご家族やキーパーソンとなる方々の思いに寄り添うためには、生活背景をとらえることはとても重要です。患者さんのご家族が「この病院にかかってよかった」、そして職員が「ここで働いてよかった」と思える病院にしていきたいです。

●看護部長 尾崎 ちなみ



地域、院内のチーム医療でスキルを高め合う ココロのコミュニケーションが機能的な医療を実現します



私たちは病院が正常に機能するためのコミュニケーションを重視しています。他の医療施設との連携、地域や院内でのチーム医療、そして患者さんとの触れ合い。医師や各専門職のスタッフがチームワークで動くことで、日々の様々なコミュニケーションの円滑化を実現しています。そのような心が通じ合ったコミュニケーションは医療行為が正しく、かつ迅速に行われるために欠かせないものです。「チーム協立」は患者さんにとって安全で快適な医療とは何かを日々模索しています。

地域でのチーム医療

救命講習会、健康づくりサポート、健診・人間ドック——。岡山協立病院では、地域のための医療を設立当初から方針として掲げ、院外においても医師や専門職がチームを組んで多くの活動を実践しています。地域に住む人々を丸ごと健康にしたい。一人でも多くの方が毎日笑顔で過ごせるようサポートしています。

院内でのチーム医療

医師や看護師・理学療法士など、それぞれの医療専門職がチームとなって、患者さん一人ひとりの療養生活をサポート。緊密なコミュニケーションで連携を図りながら、患者さんに最良の医療を提供しています。病気が原因で起きるさまざまな悩みや心配事に寄り添い改善してゆく努力を重ねています。

スキルを高め合う

より良い医療の実現をはかるため、院内のスタッフがそれぞれの立場から平等に意見を出し合うなど、フラットな人間関係を築いています。多職種協働医療の時代を迎えた今、安全で高度な医療が求められています。患者さんを中心としたチーム医療を充実させ、お互いのスキル向上に努力する姿勢を貫いています。



●NST: 栄養サポートチーム



●RST: 呼吸サポートチーム



●褥瘡(じよくそう)対策チーム



●チーム ICLS



●緩和ケアチーム



●ノーリフトチーム



●ICT: 感染対策チーム



●DCT: 認知症ケアチーム



●骨粗鬆症チーム

医療機器・技術



●消化器内視鏡センター

消化管(食道、胃、大腸)・胆・膵(胆嚢、胆管、膵臓)疾患に関して、経鼻内視鏡による検診から、内視鏡下での胃がん治療までほぼすべてを行っています。最新機器に加え、充実した医師・スタッフで、病気の早期発見・早期治療に努めています。

良質の医療を実践し、地域の皆様の信頼を得る——
高度で良質な医療を支える高品質な医療機器



●マルチスライスCT

このCT装置は、全身を非常に短い時間で検査できる精密検査機器です。慢性疾患から急性期疾患の検査まで幅広く活躍しています。



●MRI(磁気共鳴装置)

MRI装置は、磁気を利用して体の任意の断面を画像化する装置です。CTに比べ組織分解能に優れ、特に脳梗塞では有用です。



●胸部用CR(胸部X線デジタル画像システム)

胸部用CRシステムは、コンピューター処理によって、常に均一な濃度の画像を得ることができ、患者さんにとってより正確な診断を受けることができます。



●マンモグラフィ

2019年にマンモグラフィ装置の更新をおこないこれまで以上に鮮明でクリアな画像と、患者様の心理的不安の軽減につながる痛みへの配慮で、乳がん検診・検診後の精密検査に活用されています。



●骨密度装置(DEXA法)

骨密度測定では、腰椎や大腿骨部の骨密度を直接測り、将来の骨折のリスクを見極め、骨粗鬆症の予防に役立っています。



●体外超音波結石破碎装置(ESWL)

日本では、上部尿路結石の90%をこの装置で治療を開始しています。性能も安定しており、硬膜外麻酔が不要などの利点があります。



●DSA(血管撮影装置)

DSAは、骨や軟組織部を消去し血管のみを写し出すことができる装置です。2021年に更新した新しいDSA装置はモニター画面も高性能となり、狭心症や心筋梗塞での冠動脈造影検査・ステント留置術、ペースメーカー埋め込み術、下肢動脈形成術など多くの循環器症例で活用されています。



協立 Hospitality

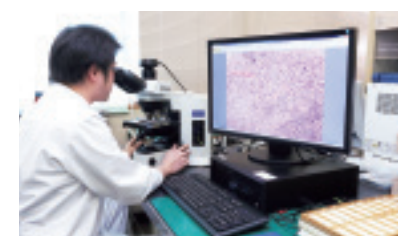
より良い医療が提供できるように

近年の医学の進歩には目覚ましいものがあり、より細分化、高度化してきています。医学の進歩は我々に恩恵をもたらす一方で、病気の方々と医療者側の関係が疎遠になっているという弊害も指摘されています。また、他の産業界と同様に医学界にも、経済性、効率性重視の風潮が広まってきており、医療安全が脅かされています。岡山協立病院では、病気の方々との対話を

を基本に、全職員が医療安全にも留意し、より良い医療を提供できるよう真摯に取り組んでまいります。



●副院長 角南 和治



●病理・細胞診断

病理部は、常勤の病理・細胞診専門医と細胞検査士4名で、術中迅速診断・組織診断・細胞診・病理解剖などを行っています。



●血液分析

この装置では、血液中の成分を分析し、体の炎症や代謝異常・ホルモンのバランス・腫瘍の存在や感染症の有無を調べます。



●腹部エコー

主に肝臓・胆嚢などの腹腔内臓器の検査をします。他にも、頸部エコーでの動脈硬化の判定、甲状腺や皮下腫瘍の観察も行います。



●心エコー

心臓の動きや形、弁の状態、血液の流れを観察します。その他、下肢静脈の血液の流れを観察し、血栓の有無を検査します。

岡山医療生活協同組合

いのちの平等を守る



みんなで助け合い、励まし合って、笑顔を広げてゆく 岡山協立病院は、地域に育まれた地域のための病院です



地域の健康づくりのため今日も医療生協は活動しています

1952年(昭和27年)、「安心の医療」を実現するという理想を掲げ集まったほんの数名の人たち。彼らが始めた岡山大衆診療所こそ、岡山協立病院を運営する岡山医療生活協同組合(医療生協)の活動の始まりです。半世紀を経た現在、安心して暮らせる街づくりをめざし、様々な活動に取り組んでいます。医療生協は、購買生協や学校生協と同様に、組合員の出資金により運営されています。もちろん出資者は、地域の住民。地域住民の健康づくりのため、病院・診療所・介護福祉施設を運営するほか、社会保障の充実をすすめる運動を展開。地域に根付いた組織の役割を果たしています。

岡山医療生活協同組合

- 創 立 1952年8月17日
- 理事長 高橋 淳
- 組合員 6万人(2025年1月現在)
- 出資金 19億円(2025年1月現在)

岡山医療生協の理念

岡山医療生協は いのちと心を 大切にします。

- 安全、安心、信頼の保健・医療・介護のネットワークをひろげます。
- 楽しい組合員活動を通じ、健康で明るいまちづくりに貢献します。
- 人が個人として尊重され、「平和」・「環境」を守る社会をめざします。



【医療福祉生協のいのちの章典】

いのちとくらしを守り健康をはぐくむための権利と責任

ともに組合員として生協を担う私たち地域住民と職員には、いのちとくらしを守り健康をはぐくむために、以下の権利と責任があります。

〈自己決定に関する権利〉

私たちは、知る権利、学習権をもとに自己決定を行います。

〈自己情報コントロールに関する権利〉

私たちは、個人情報保護されると同時に、本人の同意のもとに適切に利用することができるようにします。

〈安全・安心な医療・介護に関する権利〉

私たちは、安全・安心を最優先にし、そのための配慮やしきみづくりを行います。

〈アクセスに関する権利〉

私たちは、必要な時に十分な医療・介護のサービスを受けられるように社会保障制度を改善し、健康にくらすことのできるまちづくりを行います。

〈参加と協同〉

私たちは、主体的にいのちとくらしを守り健康をはぐくむ活動に参加し、協同を強めてこれらの権利を発展させます。

2013年6月7日 日本医療福祉生活協同組合連合会
第3回通常総会にて確定

協同の理念で 地域での健康づくりを行っています

岡山協立病院の特徴は、「利用しやすい病院づくり」を、地域住民と病院職員が一緒になって行っていることです。「利用者の立場だったらどう感じるか」「どう受け止めるか」を意見交換しながら問題解決をしています。

①患者さんの健康づくりの提案、②地域住民との健康づくり、③病院で働く人の健康づくり、を病院の専門の職員

と地域組合員が一緒になって、これからもつくっていきます。

●理事 川崎 順子



岡山協立病院の概要

総合力で対応する病院へ

誰もが必要な医療を受けることができ、健康でいたいという組合員の願いをこめて岡山協立病院が設立されたのは1960年のことでした。以来60年間、地域住民のみなさんと組合員さんとともに健康づくり、まちづくりをすすめてきました。

すべての人の人権を大切に、明るいまちづくりに貢献する地域から信頼される病院になりたいというのが私たちの願いです。救急、急性期医療、リハビリテーション、緩和ケア、重度障がい者の医療、在宅医療など急性期から亜急性期、慢性期、在宅とあらゆるフィールドにかかわっているのが私たちの強みです。同時に一方的に医療・介護を提供するだけではなく、職員組合員と地域組合員が協同して健康づくりをしていることも特徴です。「地域とともに生きる医師」を育てるというコンセプトで医師臨床研修にも取り組み、多くの修了者を送り出してきました。

私たちは今、病院リニューアルの計画をすすめています。地域の皆さんと力をあわせて、「地域まるごと健康づくり」に貢献し、災害時をふくめて頼りになる病院をめざします。今後ともよろしくお願ひします。

院 長 高 橋 淳



沿革

- 1952 岡山市医療生活協同組合(現岡山医療生協)創立、岡山大衆診療所開設
- 1960 岡山協立病院オープン(3階100床)内科、外科、整形外科、小児科
- 1963 増築(116床)・産婦人科開設
- 1965 増築(155床)
- 1973 訪問看護開始
- 1976 診療棟(6階)オープン(205床)救急病院指定、人工透析開始
- 1977 CTスキャン導入、病理部確立
- 1982 西館・南館完成(304床)
- 1983 総合病院岡山協立病院となる
- 1994 新看護体系移行(看護3:1(A)、補助者8:1)
- 1995 ソワニ看護専門学校実習病院となる
- 新看護(看護2.5:1(A)、補助者10:1)に移行
- 1999 厚生省の臨床研修指定病院(従病院)に指定

- 2002 北館建て替え、新南館増築、旧館改装のリニューアル完成(320床)、歯科開設
- 2003 日本医療機能評価機構認定臨床研修指定病院となる
- 2004 各種学会の専門医養成施設に認定
- 2005 総合リハビリテーションの施設認定患者なんでも相談室設置
- 2006 電子カルテ導入、地域医療連携ネット設立CT・骨密度測定器の更新
- 2007 歯科臨床研修指定病院となるISO9001:2000認証取得回復期リハビリ病棟開設(318床)
- 2008 消化器内視鏡センター開設外来化学療法室拡充
- 2010 7対1看護基準取得
- 2011 緩和ケア病棟開設、MRIの更新
- 2012 無料低額診療事業開始
- 2014 卒後臨床研修評価機構認定地域包括ケア病棟開設

- 2015 法人訪問看護ステーションの院内移転
- 2017 透視センターオープン(35床)
- 2018 CT装置の更新
- 2019 マンモグラフィ装置の更新
- 2020 AI問診導入
- 2021 血管撮影室リニューアルおよび血管撮影装置の更新
- 2022 電子カルテ更新、自動再来受付機更新、自動精算機導入、X線透視装置更新
- 2024 PFAS相談外来開始
- 2024 GGH(グローバル・グリーン・アンド・ヘルシー・ホスピタルズ)加入
- 2024 ESWL(対外衝撃波結石破砕装置)更新
- 2024 地域包括医療病棟開設 50床
- 2024 日本医療機能評価機構「機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0」一般2および副機能(緩和)更新認定

概要

- 開設者 岡山医療生活協同組合
理事長 高橋 淳
- 所在地 〒703-8288 岡山市中区赤坂本町2番20号
TEL:086-271-0943 FAX:086-271-7854
- 病院名 岡山医療生活協同組合
総合病院岡山協立病院
- 管理者 院長 高橋 淳
- 所在地 〒703-8511 岡山市中区赤坂本町8番10号
TEL:086-272-2121 FAX:086-271-0919
地域医療連携センター FAX:0120-271-287

■標榜診療科

内科、外科、整形外科、小児科、婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科、泌尿器科、肛門外科、歯科、放射線科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、消化器外科、麻酔科、リハビリテーション科、リウマチ科、アレルギー科、病理診断科、救急科

■指定医療機関

保険医療機関／救急指定医療機関／結核予防法指定医療機関／原爆医療法指定医療機関／生活保護法指定医療機関／母体保護法指定医療機関／身体障害者福祉法指定医療機関／労災保険指定医療機関／労災二次健診等給付医療機関指定／公害医療指定医療機関／岡山県大腸精密検査指定施設／岡山県胃精密検査指定施設／岡山県肺がん精密検査指定施設／岡山県肝炎一次専門医療機関／岡山県の糖尿病医療連携体制を担う総合管理医療機関／自己腹膜灌流指導管理施設／運動療法施設／在宅酸素療法指導管理施設

■認定施設

日本内科学会認定医制度教育病院／日本外科学会専門医制度関連施設／日本皮膚科学会認定専門医研修施設／日本整形外科学会専門医研修施設／日本麻酔科学会麻酔科認定病院／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本消化器内視鏡学会専門医指導施設／日本消化器病学会関連施設／日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設／日本病理学会病理専門医研修登録施設／日本臨床細胞学会認定施設／日本呼吸器内視鏡学会専門医関連認定施設／日本静脈経腸栄養学会・NST(栄養サポートチーム)稼働認定施設／日本緩和医療学会認定研修施設／日本感染症学会認定研修施設／健康評価施設査定機構の定める認定施設／ソワニ看護専門学校 実習指定病院／岡山県救命救急士病院実習受入促進事業実施医療機関／日本消化器外科学会関連施設／厚生労働省基幹型臨床研修病院／卒後臨床研修評価機構認定／日本泌尿器学会泌尿器科専門医教育施設／日本医療機能評価機構認定／ISO9001:2015認証／日本透視医学会教育関連施設

■その他(指定)

DPC対象病院／(財)日本医療機能評価機構病院機能評価認定病院(一般病院23rdG:Ver.3.0)／卒後臨床研修評価機構認定／臨床研修指定病院(基幹型病院)／社会福祉法第2条第3項に規定する無料低額診療

